

1. 科目名 (単位数)	音楽芸術Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SJMP2320
2. 授業担当教員	松本 岳志		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽芸術Ⅰ」の単位を取得していること。保育士資格・教員免許状を取得しない者（これらの取得を希望している者は「音楽」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」を履修すること）。		
7. 講義概要	本科目では、「音楽芸術Ⅰ」で身に付けた基礎的知識をさらに深めるとともに、歌唱力をさらに高めていきます。加えて、「音楽芸術Ⅰ」で扱わなかった楽器の演奏にも触れ、日本歌曲の伴奏をする技術を身に付けます。これらの学習を通して、日本歌曲の魅力を感じるとともに、学習者自らの表現力向上を目指します。また、本科目では近代以前の一部音楽についても触れ、日本音楽に関する知識の幅を広げます。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の代表的な歌曲を歌唱することができるようになる。</li> <li>2. 歌唱力や表現力を高めるとともに、合唱の能力を身に付ける。</li> <li>3. 伴奏の能力を身に付ける。</li> <li>4. 日本音楽史の概要について理解する。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学期末にレポート提出を課す。</li> <li>2. 毎回、日本を代表する歌曲について学習していく。事前にそれら楽曲の譜読みを必ず行うこと。</li> <li>3. 指定した楽器で課題曲を伴奏できるようにする。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 「音楽芸術Ⅰ」で使用した教科書を継続使用する。また、必要に応じて資料を配付する。 <b>【参考書】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の動揺 200 選」日本童謡協会編 音楽之友社</li> <li>・「図解 日本音楽史 増補改訂版」田中健次著 東京堂出版</li> <li>・「図解 近現代日本音楽史」田中健次著 東京堂出版</li> </ul>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の代表的な歌曲を歌唱することができるようになったか。</li> <li>2. 歌唱力や表現力を高めるとともに、合唱の能力を身に付けたか。</li> <li>3. 伴奏の能力を身に付けたか。</li> <li>4. 日本音楽史の概要について理解したか。</li> </ol> ○評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポート 20%</li> <li>2. 実技 (歌唱・伴奏) の発表 40%</li> <li>3. 事前・事後学習を含む授業への取り組み姿勢 40%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	本科目は、「音楽芸術Ⅰ」に続き、芸術性の高い日本歌曲を主に学ぶ授業です。また、雅楽や歌舞伎など、日本の伝統文化についても触れます。これらの中には現代語ではない（古い言葉による）歌詞の曲が多いことから、高い日本語力が求められます（N2以上の力がないと理解不可能）。また、この科目は一般教養科目ではなく専門教育科目ですから、履修するにあたり基礎的な歌唱力及び読譜力も求められます。授業内で歌唱の発表を行いますから、学んだ歌曲の練習をする習慣を身に付けてください。		
13. オフィスアワー	初回授業（オリエンテーション）の際に周知する。		

#### 14. 授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 外国曲①：「大きな古時計」「ドレミの歌」	事前学習	音楽芸術Ⅰの復習をしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第2回	外国曲②： 「仰げば尊し」「蛍の光」「庭の千草」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第3回	日本の歌百選より：60～70年代 「手のひらを太陽に」「思い出のアルバム」「翼をください」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第4回	日本の歌百選より：80～00年代 「川の流れのように」「涙そうそう」「世界に一つだけの花」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第5回	アニメの曲より： 「さんぽ」「アンパンマンのマーチ」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第6回	坂本九（歌）の代表曲より： 「見上げてごらん夜の星を」「上を向いて歩こう」「幸せなら手をたたこう」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第7回	合唱曲①： 「心の瞳」「気球にのってどこまでも」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第8回	合唱曲②： 「切手のないおくりもの」「涙をこえて」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて

			て表現力豊かに歌唱できるようにする。
第9回	合唱曲③： 「旅立ちの日に」「ピリープ」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第10回	合唱曲④： 「明日へ」「大地讃頌」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第11回	日本音楽史の概要 雅楽	事前学習	日本音楽史に関する資料を読んで、予習しておくこと。
		事後学習	雅楽について復習し、理解すること。
第12回	歌舞伎・長唄	事前学習	歌舞伎・長唄に関する資料を読んで、予習しておくこと。
		事後学習	歌舞伎・長唄について復習し、理解すること。
第13回	能・狂言	事前学習	能・狂言に関する資料を読んで、予習しておくこと。
		事後学習	能・狂言について復習し、理解すること。
第14回	日本古謡：「さくらさくら」「うさぎ」「江戸の子守唄」	事前学習	日本古謡に関する資料を読んで、予習しておくこと。
		事後学習	日本古謡について復習し、理解すること。
第15回	琉球音楽 まとめ	事前学習	琉球音楽に関する資料を読んで、予習しておくこと。
		事後学習	琉球音楽について復習し、理解すること。